

加茂山で5年ぶり 本物の「雪」での雪合戦大会 (1月30日)

主な内容

- 新しい年のはじめに 24
- 税に関する作文・標語 5
- 元旦マラソンの結果 5
- 民生・児童委員の紹介 67
- カメラスケッチ 8
- 加茂の風土記 10

加茂病院は加茂市の宝 加茂病院を盛り立てましょう



加茂大橋と粟ヶ岳

新しい年のはじめに



加茂市長
小池清彦

新年あけましておめでとございます。

謹んで、市民の皆様には新年のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれましては、今年一年、何とぞますます御健勝で御多幸の日々をお過ごしくださいませよう、心からお祈り申し上げます。

本年も市民中心の真の民主的市政をさらに推進し、これまでに到達した市政の高い水準をさらに高め、充実させてまいりたいと存じますので、何とぞよろしくご指導くださいませようお願い申し上げます。

「市民と市長の『よもやま話』の日」には、本年も市民の皆様のお越しを心からお待ち申し上げます。

小泉内閣による県や市町村に対する財政的圧迫は、想像を絶するひどいもので、加茂市では、毎年十億三千万円もの自由に使える地方交付税交付金が国から来なくなつたのでございました。これは、加茂市職員の人件費の概ね半分に相当す

る途方もない金額であります。これに対して、福田内閣になりましてから、毎年一億三千万円を戻し、麻生内閣になりまして、さらに一億六千万円、併せて二億九千万円を戻していただきました。新しい政権の鳩山内閣は、さらに平成二十二年度に二億六千万円増やしてくれましたので、合計五億五千万円回復されたこととなります。

さらに加茂市は、本年四月時点でこれまでに六十五人の人員削減を行いましたので、人件費だけで四億五千五百万円の経費削減を行ったこととなります。

このように加茂市は、節約に努め、極力国の資金を使うようにしてきた結果、平成二十一年度予算は、七百万円の黒字に転換し、平成二十二年度は一億九千九百六十万円という大幅な黒字決算見込みとなりました。

加茂市におきましては、さらに一層愛情を根本とする市政を推進し、市民の皆様お一人おひとりをお幸せにするよう一生懸命頑張りたいと思いますので、何とぞよろしく御指導くださいますようお願い申し上げます。

さて、昨年、十二月四日に待望の加茂大橋が完成して渡り初めを行うことができました。記念すべき年でございました。

来るべき年は、

世界同時不況に続く円高不況の中で、最大限に市民の皆様

と企業をお守りする

日本一の福祉と子ども福祉のまちを堅持する

日本一の健康施策のまちを堅持する

スクールバス三十台の日本一の体制をはじめ、高い教育の水準を堅持する

日本一商工業が守られているまちを堅持する

日本一農業が守られているまちを堅持する

日本一自然環境が守られているまちを堅持する

ことをモットーとして全力を尽くしたいと存じます。

また、加茂地域消防署に高規格救急車二台を増強し、通常運行する四台を全て高規格救急車といたします。

国は、子宮頸がん予防ワクチン（中学一年生から高校一年生）、髄膜炎を予防するヒブワクチン（生後二か月から五歳未満）、小児用肺炎球菌ワクチン（生後二か月から五歳未満）の予防接種を行うことを決めました。

加茂市も本年一月からこれらを実施いたしました。全額助成で国が四五%を支出し、加茂市が五五%を支出いたします。

三つめの特別養護老人ホーム第三平成園が一昨年十二月にオープンいたしました。とりあえず五十床分の建設ですが、これで加茂市の待機者は、実質ゼロになる見込みです。

しかし、今後も入所が必要な方が増えていきますので、さらに残りの五十床とデイサービスセンターの建設の機をうかがいたいと思います。

加茂病院につきましては、総合診療科も開設され、常勤医六人と非常勤医十七人で相当充実した診療が行われております。県御当局に感謝申し上げますとともに、まだ知事さんが約束された常勤医十三人との間には大きな差がありますので、その実現をしっかりと見守りたいと思います。

県央の救命救急センターにつきましては、現在建設中の国道四〇三号線バイパス沿線で三条市との境に近い加茂市内の候補地に加茂病院を移転改築し、その救命救急センターをつくるべく全力を尽くしますが、一昨年、泉田知事さんは、「加茂病院は、廃止も縮小もしない。民営化もしない。県営で行く」ことを、まず以って約束されました。

救命救急センター及び併設病院につきましては、現在、知事、神保副知事、市町村長、医師会長、救急病院長で構成する合同会議で検討を進めておりますが、私は当面客観的な立場で公平に会議を主導して早急に「共通認識」をまとめたうえで、救命救急センターを加茂病院に誘致するため全力をあげたいと考えております。

大被害に備えての国による信濃川の土手のかさ上げは、急ピッチで進み、平成二十二年度末には、刈谷田川まで到達し

て完了いたします。それに合わせて加茂川と下条川の下流のかさ上げも急がなければなりません。

加茂川の堤防のかさ上げ（JR鉄橋から下流）につきましては、県は、二十一年度に工事を開始されました。

下条川の堤防のかさ上げ（JR鉄橋の一つ上（かみ）の新川一号橋から下流）につきましても、県等局は、平成二十二年度に詳細設計を行い、二十三年度に工事を開始する予定です。

開始された加茂川堤防のかさ上げは、堆積して中洲となった土砂を掘削して、これに凝固剤を加えて、土手の上に積むものですが、県は、現在下流にたまった土砂の半分しか必要ないといっています。

私は、土砂を半分しか取らないのでは、洪水になったとき困るので、下流の土砂を全部取っていただくよう泉田知事さんをお願いしているところであります。

その他万般にあたり、市民の皆様お一人おひとりのお幸せのために全力を尽くしてまいりたいと存じます。

平成二十三年度の加茂市政につきましては、本年の広報かも三月号（施政方針）とその別冊（予算概要）で、詳しく申し上げますと存じますので、その節はまたよろしく御指導・御鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

「税」に関する作文・標語を表彰

「税」の仕組みと役割について 作文には、四十六点、標語には四知識と関心を高めてもらおうと、百十二点の応募があり、次の賞が作文と標語を募集しました。 決まりました。(敬称略)

■作文

【加茂市租税教育推進協議会長賞・優秀賞】

- 「酒税について」 若宮中学校三年 番場 望
- 「税金の必要性について」 七谷中学校三年 櫻井美菜子
- 「税について思うこと」 須田中学校一年 山内 涼平
- 「税への関心」 加茂暁星高等学校三年 関 康之
- 「税金と感謝」 加茂農林高等学校三年 小柳早矢香

■標語

【加茂市租税教育推進協議会長賞・優秀賞】

- 「見えないよでも支えるよ税金は」 加茂中学校三年 外石 智英
- 「税金ですてきな暮らし明るい未来」 葵中学校一年 有本 歩
- 「税金はいつも身近で人のため」 葵中学校二年 横山 瑞希
- 「税込みは実は皆の笑顔込み」 葵中学校三年 牛腸なつみ
- 「税金で豊かに暮らせる福祉の町」 若宮中学校一年 蝶名林喜子
- 「何気ないこの風景も税金から」 若宮中学校二年 菅家 千幸
- 「この町を支える税金つながる笑顔」 七谷中学校三年 番場ひかる
- 「税金で作れるきつと明るい世界」 須田中学校一年 茂野 翼
- 「考えて橋・道・公園ない暮らし」 須田中学校二年 坂井 美穂
- 「納めよう明るい未来の礎に」 須田中学校三年 西村 明恵

第32回 加茂市元旦マラソン

今年の元旦マラソンは、何年かぶりに青空での開催になりました。大会には市内外から百二十名が参加し、全員が完走しました。結果は次のとおりです。

【2.8 kmコース】

- ▼小学三・四年男子
- ①安達翔夜12分44秒(田上小・スポ少)
- ②酒井俊輔(須田小)
- ③諸橋知也(加茂南小・スポ少)
- ▼小学三・四年女子
- ①石附花音15分41秒(加茂小)
- ②皆川いろは(石川小)
- ③阿部李保(加茂南小)
- ▼小学五・六年男子
- ①梅田大成10分59秒(七谷小)
- ②泉田拓哉(加茂小・加茂ジュニア陸上)
- ③中野大雅(石川小・スポ少)
- ▼小学五・六年女子
- ①井上早紀12分36秒(加茂南小・加茂ジュニア陸上)
- ②塩野ひかり(下条小)
- ③吉川美優(石川小・スポ少)
- ▼中学男子
- ①梅田聖史9分31秒
- ②渡辺寅貴(葵中)
- ③小池優太(加茂中)
- ▼中学女子
- ①鶴巻苑子11分44秒
- ②最優秀選手賞(田上中)
- ③田澤瑞海(葵中)
- ③齋藤優里愛(葵中)
- ▼一般高校生

- 子①波塚美奈子12分15秒(笹岡小教)
- ②船久保真弓③佐藤友子
- ▼一般男子(40歳以上)
- ①保倉信明10分9秒(加茂地域消防署)
- ②田代修(京ヶ瀬A)
- ③梅田誠

【4.9 kmコース】

- 一般高校生①中村隆之16分22秒(国際武道大)
- ②船久保徹(加茂地域消防署)
- ③鶴巻勝弘(長岡工業高)



福祉のまちづくり

地域のくらしの相談役

民生委員・児童委員を紹介

暮らしのよき相談役として、厚生労働大臣と県知事から委嘱される民生委員・児童委員が、このたび改選されました。任期は、平成二十五年十一月までです。

民生委員・児童委員は、行政と地域の皆さんのパイプ役となり、地域福祉の担い手として、さまざまな問題の解決にあたります。福祉についての相談は、一人ひとりにあった方法が求められます。委員は、皆さんの環境や状況に応じて、最善の対応を紹介します。委員は、皆さん困ったこと、悩み、心配ごとなどいつでもお気軽にご相談ください。相談内容の秘密は固く守られます。

【デイサービス】

寝たきり等の人を、平成園・第二平成園で、一日お世話（食事や入浴・軽い運動など）するサービスです。

【短期の入所（ショートステイ）】

介護している人が、介護疲れで少し休みたい・病気や冠婚葬祭あるいは旅行などで介護を必要とする人をお世話できないときに利用できるサービスです。

【老人ホーム等への入所】

常時の介護を必要とする等のため、自宅でのお世話ができなくなったとき、施設に入所して介護を受けるサービスです。



福祉用具の貸出



介護用ベッドや車いすを貸したり、一人暮らしのお年寄りのお宅に緊急通報装置などを設置したりします。

訪問看護

(リハビリテーション)

寝たきりや障害などにより、日常生活で支障がある人に、保健師・看護師や理学療法士が療養上の世話やリハビリテーションを行うサービスです。

ホームヘルパー



高齢や障害などにより日常生活に支障がある人に、食事や入浴の介助、洗たくや買い物などのお世話をするサービスです。

お問い合わせ先

これらのことや、家庭内での困りごと・心配ごとは次のページで紹介する各地区の民生委員・児童委員、または福祉事務所、在宅介護・看護支援センターへご相談ください。

いろいろなサービス制度

紙おむつの購入助成券の支給、一人暮らしのお年寄りや重度障害者のお宅への夕食弁当お届け、タクシーの利用券、重度の障害や寝たきりのお年寄りなどを介護している家族に支給される介護手当などの制度もあります。

各種の融資・補助制度

高齢者・障害者住宅整備資金の貸付や補助、たすけあい資金、生活福祉資金、補装具の購入補助、低利の融資制度がありますのでご相談ください。

市内各地域の民生委員・児童委員

委員氏名	電話	担当行政区
小柳 譲二	53-1277	小乙、岩野
小柳 政一	53-1361	上・下高柳
菅家 正子	53-1396	西山
高井 宏夫	53-1510	上・中・下大谷
泉田 ミヨ	53-1627	上・下土倉、長谷
長澤 秋則	52-6078	黒水西・南・上黒水
梅田 厚子	53-0033	黒水北・中・東
番場 多越	52-3201	第1区
指田トシエ	52-8096	第2区、上3区、桜沢の一部
笠原 晶二	52-5785	桜沢
齋藤 昌喜	52-8148	秋房
塩原 サチ	52-1359	若宮町1丁目12、13番と16番以降と若宮町2丁目
坂井 正子	52-6504	若宮町1丁目1~11、14、15番、新町2丁目の一部
鈴木 繁	52-2802	新町2丁目
石田 利安	52-2245	新町1丁目
南山 桂子	52-2571	五番町
小柳 純子	52-0982	上町
市村 正子	52-8526	八幡3丁目
相田 祥子	53-0334	八幡1丁目、2丁目
青木 政實	52-5922	上条、皆川
五十嵐静子	52-5653	神明町1丁目
関 キクエ	52-1813	神明町2丁目
菊田 泰策	52-0064	本町、仲町
関 英男	52-0106	穀町
金子美智子	52-8421	駅前、番田
吉村由利子	52-8385	都ヶ丘、希望ヶ丘
樋口 春實	52-0773	学校町
外石 榮子	52-2195	陣ヶ峰
泉田 京子	52-1262	青海町1丁目
佐野 武	52-1150	青海町2丁目
新井 達明	52-7306	赤谷、青海町と陣ヶ峰の一部
岡田 ヨリ	52-5066	千刈1・2・3丁目

委員氏名	電話	担当行政区
永井 夏美	52-8453	幸町1・2丁目
長谷川榮子	52-3458	石川1・2丁目
菅野 浩衛	52-7558	第23区
谷口キミ子	53-1070	第24・25区
阿部 芳子	52-5859	松坂町
大湊 石次	52-3949	岡ノ町、松坂町と矢立の一部
松下 静	52-2998	矢立、松坂町と岡ノ町の一部
清水 孝行	52-5828	寿町
大塚 優子	52-5827	旭町
小柳 史子	53-0198	栄町
松本伊左尾	52-8128	新栄町
長谷川久子	52-7849	大郷町1・2丁目
坂上 久枝	53-0464	高須町1・2丁目
相波 明	52-8992	小橋1・2丁目
番場 勇	52-1903	上下条、長福寺
牛腸 勲	52-7109	早田、上興屋向、小橋2丁目の一部
高橋 基一	52-6886	中興野、芝野
石黒 敬子	52-8635	下興屋向
諸橋 三男	52-4667	中村、柳町
青柳多一郎	52-8083	福島、横江
鈴木 道雄	52-7751	天神林、下興野
武石 義和	53-1915	上・中・下鶴森、田中新田
石崎 茂	53-1811	前須田、砂押新田
今井ミツ子	53-1974	後須田第1・第2
番場 末松	53-2090	後須田第3・第4
間 栄一	53-2173	北潟、五反田

主任児童委員

北地区	井上亞機雄	52-3405	
南地区	中山佐和子	52-0310	
葵地区	関 正平	52-5313	
七谷地区	中村 次男	53-3491	
須田地区	更科 正圀	52-9830	



■消防出初式（1月9日）

雪が舞う中、市内七分団全ての団員が集まり、日常の予防活動と災害時の安全確保について訓示の後、パレードと放水訓練で市民から信頼と感謝の拍手を受けました。



■新春美術展・ロビーコンサート（1月23日）

新春美術展会場の文化会館ホワイエで箏曲のコンサートがありました。箏の音色に聴きなれた曲も新しさを感じるものになりました。



■文化財防火デー放水訓練（1月23日）

黒水の市指定文化財「鶴巻家住宅・酒蔵」で行われました。歴史的財産を守るため、積雪がある中での訓練に、現場到着から放水までの手順を確認していました。

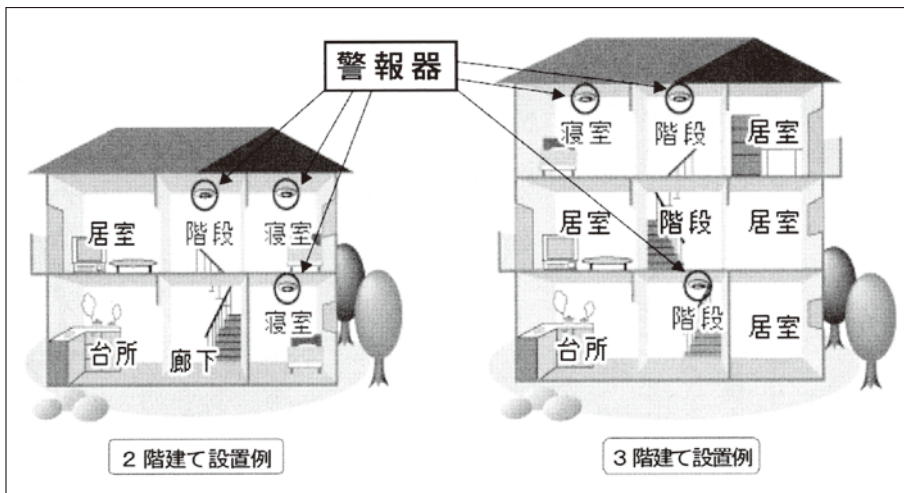
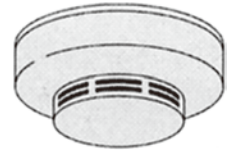


■新春書初展（1月21～23日）

市内小中学校の皆さんが、お正月に書いた力作が、公民館研修室に展示されました。

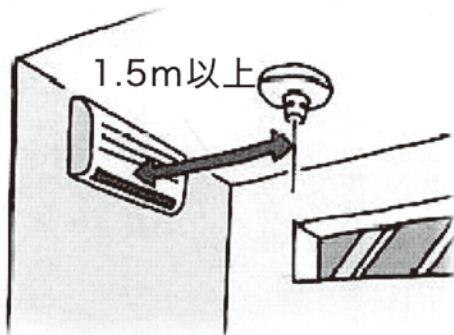
火災から大切な生命を守るため 住宅用火災警報器を取り付けましょう

今年5月31日までに全ての住宅に
住宅用火災警報器の設置が
義務づけられています

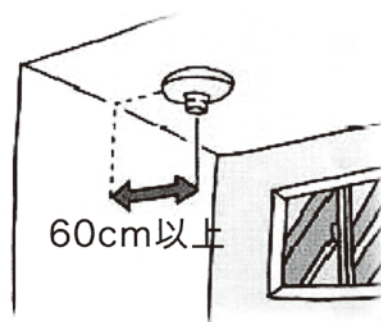


設置場所

- 寝室
- 寝室がある階の階段
(3階建て以上の住宅
はお問い合わせくだ
さい)
- ※台所への設置もお勧
めします



換気扇やエアコンがあるときは、1.5m以上離して取り付けてください。



天井に取り付けるときは、壁よりはりから60cm以上離します。

取り付ける場所

警報器は、防災用品店、ホームセンター、家電販売店、ガス器具販売・工事店などで取り扱っています。機器の種類は光電式（寝室・階段用）とイオン化式（廊下用）の2種類があり、個人で取り付けすることもできます。詳しくは、販売店、工務店などにお問い合わせください。

機器の購入、設置場所のお問い合わせは
加茂地域消防署へ

電話 52-1770

(※110番・119番は緊急通報専用電話です。
火災発生場所は、電話52-1233テレガイド
でお知らせしています。)

ご注意ください!!

消防署・消防団が「住宅用火災警報器」「消火器」などを訪問販売することはありません。「消防署から来た」という言葉にはご注意ください。

三菱財閥の加茂での土地所有

水田や畑を地主から取り上げて、実際に耕作している小作農民に安い価格で売り渡す、いわゆる農地解放が実施されて六十年が経過した。最近、農地法を改正して、株式会社による農地の所有を認めるべきだという声が強くなっている。

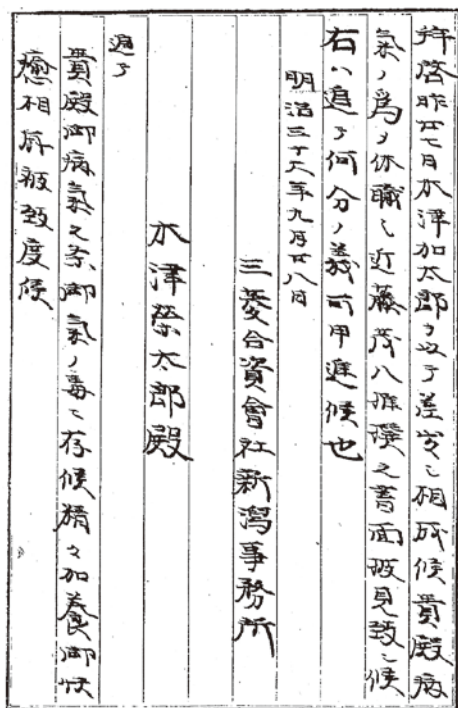
今から百二十年前の明治二十年代に、三菱財閥が蒲原平野で広範な農地を買い集め、県内でトップクラスの巨大地主として、多くの小作人を支配していた。その面積は、大正十年（一九二二）で田が八百八十二町歩、畑が百三十一町歩、計千十三町歩にも達した。加茂でも山島・加茂新田・

矢立新田に多くの土地を所有し、百十軒を超える小作農民を抱えていた（以下『新潟県農地改革史資料』）。

新潟市礎町に事務所のある三菱合資会社が岩崎久弥の名義で加茂地域に土地を求めたのは、明治二十一年（一八八八）からであった。矢立新田・加茂新田・山島の田・畑・宅地・原野など合計三十三町歩余の土地をまとめて一万三千五百円で、田上の大地主田巻三郎兵衛から購入し、五月十五日に登記した。

この頃、三郎兵衛は白根郷を中心とする中蒲原郡三百三十六町歩をはじめ、南蒲原郡百五十六町歩や西蒲

加茂の風土記



大塚勇松文書（市史編さん室所蔵）

原郡、北蒲原郡などに総計五百六十町歩もの所有地を三菱に売却した。しかし、三郎兵衛は白根郷の多くを売却したにもかかわらず、須田村で所有の五十一町歩余は、その後も保持し続けた。須田村が米の収量で比較的安定していたためと思われる。

三菱合資会社は、その後も加茂地域での買い増しを続け、田二十五町歩、畑二十一町歩、その他六町歩、総計五十二町歩にものぼった。大正九年に東山農事株に改称して、小作地の経営にあたり、他の巨大地主と同じく各地の在地の旧地主を差配人に選び、小作米の収納と小作農民の管理にあたらせた。

矢立新田の差配人木津栄太郎は、担当の小作人のうち十六名が食べる米に不足し、外米購入費用を地主である三菱から借り入れていたが期日まで返済できないため延納の交渉にあたり、返済金徴収も担った（『加茂市史資料編3』）。木津は明治三十六年九月に病気のため差配人を辞任し、同じ矢立新田の近藤茂八に代わった（大塚勇松文書）。

この他、高橋利七（山島）、入江熊太郎（川西）、青野与五郎・斧平父子（加茂新田）らが差配人を勤めた。（長谷川昭一）

あーいっしょ

社会福祉費寄附金

▼あいさい市（美人の湯特産品コーナー）に出展）から 二万五千元

ふるさと寄附金

▼笠原順一さん（東京都江東区）から 三十万円

加茂市へ

▼五十嵐正美さん（赤谷）から 原田泰治作セリグラフ「思い出の電車」

人口のうごき

1月1日現在
世帯 10,180 (+8)
人口 30,635 (-22)
男 14,794 (-6)
女 15,841 (-16)
()内は前月比
(12月異動分)
出生 11 (男8女3)
死亡 34 (男17女17)
転出 33 転入 34